

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

iPS細胞及び体細胞に関する世界最先端の研究成果を事業化し、再生医療など次世代医療を通じて人々の健康福祉に貢献すること

研究支援事業売上比率
81%

再生医療市場規模
5～10兆円

2 中長期の経営戦略

1. 積極的なグローバル化推進

米国、欧州、インド、日本の4拠点で販売・製造・研究開発機能を有機的に連携。世界中の大学・公的研究機関・製薬企業にアクセス

2. 研究支援とメディカル事業の連続成長

短中期は研究支援事業で収益化。長期はメディカル事業で成長。薬機法による早期承認制度を活用し治験期間短縮を実現

3. 最先端技術による優位性確保

RNAリプログラミング技術や要素技術の組み合わせで競争優位性を追求。世界トップ大学・企業とのコラボレーション推進

3 対処すべき課題

① 技術革新への対応と市場リーダーシップ

- ・ iPS細胞分野の急速な研究開発競争に対応し技術的優位性を確保
- ・ 国内外の大学・公的研究機関・民間企業との連携で技術導入を戦略的推進

② 事業ポートフォリオ最適化と収益基盤強化

- ・ 研究支援事業で高付加価値製品提供しつつ再生医療製品へ戦略投資継続

③ 再生医療製品の早期承認と臨床応用

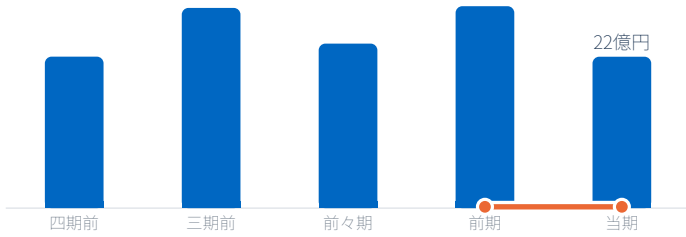
- ・ ステムカイマルの早期承認取得に向けた準備加速
- ・ ALS対象iPS神経グリア細胞でRNAリプログラミング技術により安全性確保
- ・ TIL療法・GPC-1 CAR-T療法の臨床試験開始とCDMO事業のグローバル展開

面接で使えるポイント

- ・ iPS細胞技術で世界最先端を追求し、米国・欧州・インドの4拠点でグローバル展開している点
- ・ 2030年に再生医療市場が5～10兆円規模に成長する中で、当社が早期承認制度を活用して治験期間短縮を実現する戦略
- ・ 研究支援事業で短期収益を確保しながら、ステムカイマルなど複数の再生医療製品への中長期投資を並行実施

証券コード 4978

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
iPS細胞技術の中核事業とする化学・素材企業

主力事業・セグメント

- ・ ResearchSupport 87.4%
- ・ 医療 12.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
22億円営業利益率
▲38.5%財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
615万円

化学内 156位/204社

平均年齢
34.2歳

化学内 201位/204社

平均勤続
5.0年

化学内 195位/204社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: リプロセル[4978]: 営業外収益の計上に関するお知らせ 2

